

カラふる

ふるさとニュースマガジン
colorfuru

地域創生を応援するWEBサイトのご案内

地域の魅力的なスポット、特産品、移住、観光情報を掲載！ 「ふるさとをカラフルにする」ニュースメディア



■ 名称:「カラふる」

■ URL:<https://colorfuru.jp>

■ サイト開始:2019年11月～

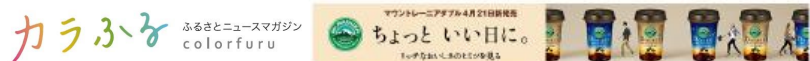
■ 配信数:月間50本(1日1～2本)

■ 読者:20-50代の男女

最近、“地域創生“が注目を集めていますが、まだまだ地域の魅力を伝えるコンテンツが少ないのが現状です。

そこで、「カラふる」では地域の特産品や注目スポット、企業、そこに住むひとびとの暮らしに注目。日本全国のさまざまなエリアの「今」を知りたい人や興味のある人に、リアルな声や情報を届けます。

■カテゴリー



ライフスタイル 創生・ビジネス 移住・求人 観光・旅行 グルメ・特産品 ふるさと納税



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(50文字)

インフォメーション



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(45文字です。)



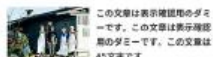
この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(45文字です。)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(45文字です。)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(45文字です。)



この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。この文章は表示確認用のダミーです。(45文字です。)

プレスリリース配信にも活用可能

ライフスタイル

地元の人々の暮らしぶり、町おこしイベントetc.

創生・ビジネス

魅力的な地元企業、地方創生に関する新たな取り組みetc.

移住・求人

移住者インタビュー、移住の基礎知識、移住後に就ける地元求人情報etc.

グルメ・特産品

飲食店などの観光情報、おすすめグルメ、お取り寄せetc.

ふるさと納税

プロが教えるオススメのふるさと納税、料理のし方etc.

プレスリリース

セミナー、イベント告知、新サービスの展開など各自治体からの最新情報をお届け

■記事について

富士山観光で使える振興券がもらえる！—ふるさと納税の返礼品をコスパで選ぶなら

シェアする ツイート

普段、生活の中であまり意識することのない空間。しかし、人が目に押寄せる空間はなんと19%（※1）といわれています。1日のうちでも私たちは何かに取り入れているものももっとも多いのは、水や食料ではなく、空間なのです。



この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

見出しタイトル h2

普段、生活の中であまり意識することのない空間。しかし、人が目に押寄せる空間はなんと19%（※1）といわれています。1日のうちでも私たちは何かに取り入れているものももっとも多いのは、水や食料ではなく、空間なのです。

その空間には、目に見えない地産物や化学物質、気候や環境の大気であるかにも含まれています。つまり、私たちは知らず知らずのうちに、それらを身体に取り込んでいるというわけです。

普段、生活の中であまり意識することのない空間。しかし、人が目に押寄せる空間はなんと19%（※1）といわれています。1日のうちでも私たちは何かに取り入れているものももっとも多いのは、水や食料ではなく、空間なのです。



見出しタイトル h2

普段、生活の中であまり意識することのない空間。しかし、人が目に押寄せる空間はなんと19%（※1）といわれています。1日のうちでも私たちは何かに取り入れているものももっとも多いのは、水や食料ではなく、空間なのです。



インフォメーション

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。



プレスリリース

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。この写真はふるさと納税のイメージです。

①地元の声を届ける

例えば、特産品を作っている生産者、都市部から移り住んだ移住者など…
「町の魅力を伝えたいのにその方法が見つからない」そんな人たちの伝えたい思いを記事化

②「ふるさとチョイス」と連動

記事を読んで「ふるさと納税」を申請したいと思った読者のために、ふるさとチョイスと連動。
カート機能を付け、スムーズに申し込みができます

③執筆者や情報元がわかる

記事の執筆者のプロフィールや記事の詳しい情報（申し込みページ）などに
読者がアクセスしやすいようにスペースを用意

掲載記事

- ・返礼品で作るおいしいふるさと納税レシピ5選
- ・【インタビュー】移住でわかった「繋がりの大切さ」
- ・おしゃれな岡山産デニムマスク。色落ちしにくく良い着け心地
- ・「死ぬばい！」山村に移住直後、野焼きの炎につつまれ脱出
- ・知名度は最低なのに8割が移住者。東京の不思議な島、利島
- ・北海道北竜町のひまわり大使に人気アイドルが就任
- ……and more

シェアする ツイート

■ 主な執筆陣

寄稿者



ながさき一生 氏
東京海洋大学非常勤講師

元築地市場卸。食べる魚の専門家として全国を飛び回る。
参加者延べ1000人超の「魚を食べることが好き」という人のためのゆるいコミュニティ「さかなの会」を主宰



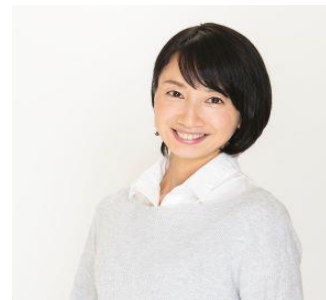
西園フミコ 氏
漫画家

「コミックDAYS」で2018年から全国のおみやげをとりあげる『おみやげどうしよう?』を連載(全4巻)



守時健氏
須崎市役所公務員

同市のしんじょう君とともに、地元のPRを担当。市のファンを増やし、ふるさと納税の寄附額を大幅に増額させるなど注目の若手公務員



津波真澄 氏
料理家、野菜ソムリエ上級プロ

アスリートフードマイスター1級ほか、食に関する資格を持つ。
沖縄の食文化を伝えながら、企業のレシピ開発やメニュー監修も行っている。美と健康のミセスジャパン2019世界大会で第4位



地方創生 女子アナ47

地方創生を目的として集まった地方局出身の女子アナ。
各担当自治体や企業のPRをサポート



地域おこし協力隊

全国各地の協力隊のみなさんにお声掛けし、地域の最新情報をお届けします

そのほか

生活情報誌、週刊誌を手掛ける弊社と関連するスタッフが現場取材記事を作成していきます

■記事の拡散方法

Google
facebook



検索やSNSに特化
ターゲット層に
効果的にリーチ

自社のオンラインメディア

ESSE online

月刊 住まい
Sumai
Powered by
もっと、暮らしにHappyな！【住まいの専門家】

月刊SPA!

自社メディアを利用して
ユーザーの相互流入



SmartNews

業務提携

カラふる

ふるさとニュースマガジン
colorfuru

■ 連絡先 ■

「カラふる」編集部

住所：東京都港区芝浦1-1-1
浜松町ビルディング10F

電話番号：03-6368-8892(事業開発局内)

編集長：立石史博
編集担当：田中ゆう子
営業担当：佐藤かなこ

k.sato@fusosha.co.jp

カラふる ふるさとニュースマガジン
colorfuru